

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	グローバルコンソーシアム参加による慢性腎臓病の標準化対策・リスク因子の解明
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
<p>魚沼コホート研究（魚沼地方の健康調査；研究責任者 田中純太）、湯沢コホート研究（湯の街ゆざわの健康調査；研究責任者 田中純太）のベースライン調査（2012～2015年度）を含む参加者</p> <p>・関連する研究：大規模コホートによる慢性腎臓病の生活習慣リスク因子の解明（研究責任者 蒲澤佳子）</p>	
③概要	
<p>慢性腎臓病（CKD）は進行すると腎不全や心血管病のリスクを上昇させます。世界の国々でも慢性腎臓病は10%前後の方で認め、健康問題のひとつです。うおぬま地方の健康調査と湯の街ゆざわの健康調査ではCKDについても注目して検討を行っております。一方で、標準的な対策に不確実性が残っていることが問題視されています。そこで、CKD-PCという世界各国のコホート研究を集めたコンソーシアムは、日本を含む世界のCKDの予防や管理を最適化するための標準化対策を見出すことを目的にアメリカで設立されています。</p> <p>そこで、うおぬま地方の健康調査と湯の街ゆざわの健康調査はCKD-PCに参加協力することで、日本人を含む世界のCKD標準化対策の構築に寄与し、地域の健康施策に生かすために本研究への参加を計画しました。</p>	
④申請番号	2019-0244
⑤研究の目的・意義	日本人および世界のCKD対策の標準化に貢献し、新潟県・魚沼地域の健康施策に生かせる普遍的・多面的エビデンスの構築を目指すことを目的とします。
⑥研究期間	～2024年3月31日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>うおぬま地方の健康調査と湯の街ゆざわの健康調査のベースライン調査(アンケート、健診)と追跡調査の情報やデータと、ベースライン調査時の保存血・保存尿で測定された結果情報を使用します。使用する情報・データは、個人が特定されないように匿名化を行い、日本国内で解析して、集団の解析結果としてアメリカのCKD-PCデータコーディネーションセンターにて使用します。健康増進医学講座の関連の他の研究と統合解析をする場合があります。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用し、地域の情報誌やCKD-PCホームページ、講座のインターネットページに公表される場合がありますが、名前などの個人が特定できるような情報が公表されることはありません。</p>

<p>⑧利用または提供する情報の項目</p>	<p>うおぬま地方の健康調査と湯の街ゆざわの健康調査本体の情報； ベースライン調査・5年毎の調査(アンケート、健診)、追跡調査の情報・データ(年次健康調査、健診、医療機関の情報などの予後調査)、魚沼コホート研究・湯沢コホート研究のベースライン調査時の保存血液尿検体で測定された情報</p>
<p>⑨利用の範囲</p>	<p>CKD-PCデータコーディネーションセンター (Johns Hopkins University, Baltimore, MD) 新潟大学大学院医歯学総合研究科 健康増進医学講座 新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎臓病内科学分野 新潟大学大学院医歯学総合研究科 環境予防医学分野</p>
<p>⑩試料・情報の管理について責任を有する者</p>	<p>新潟大学大学院医歯学総合研究科 健康増進医学講座 蒲澤佳子 Department of Epidemiology, Johns Hopkins Bloomberg School of Public Health, Associate Professor Kunihiro Matsushita</p>
<p>㊦お問い合わせ先</p>	<p>新潟大学大学院医歯学総合研究科 健康増進医学講座 旭町本部 Tel 025-368-9009 Fax 025-368-9010 南魚沼分室 Tel 025-775-7876 Fax 025-777-2766</p>